



日々のごみなどの 排出にお困りな 高齢者・障害者の皆様

「声かけふれあい収集」のご相談をお待ちしております！

「声かけふれあい収集」はどんなサービスなの？
週1回、市職員がご自宅まで伺って、声かけ(安否確認)とごみの収集をいたします。

対象世帯は？
高齢者、障害者のみの世帯で、次のいずれかに該当する方になります。
①世帯員全員が介護保険制度の居宅サービスを利用している高齢者のみの世帯
②世帯員全員が身体障害者手帳1級または2級の交付を受けている障害者のみの世帯
※①と②のいずれも、ボランティアや近隣の方などの協力が得られない世帯。
※①と②に該当しない世帯でも実際にごみ出しが困難な状況にある場合は、お気軽にご相談ください。



申し込み方法は？
申請書を資源循環課窓口にご提出ください。
ご親族、介護に携わっている方でも申請ができます(ただし、事前にご本人の承諾が必要です)。
お申し込み後、市職員がお宅に伺い、状況をお聞きします。収集方法などを確認してからサービスの開始となります。なお、収集ごみなどは原則各ご家庭で分別していただいた後の収集となります。

●問い合わせ先 資源循環課 (Tel61-3396 HP: <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/shigen/koekake.htm>)

あなたの町の クリーンステーション

市内約 4,000 のクリーンステーションの中から、
維持・管理等で工夫が見られるクリーンステーションを
環境ニュース編集委員が取材・紹介します。

第4回:今泉三丁目(今泉 No.3101)



収集日に品目ごとにそれぞれの出し方が分
かりやすく書かれた札。誰でも正しい出し方
が分かるように工夫されています。他の品目
と交ざってしまうこともありません。



わかりやすく負担の ない方法が一番！

戸建て住宅と2棟のアパ
ートの皆さんがお使いのこち
らのクリーンステーションで
は、品目の多い紙類・布
類・容器包装プラスチック
の日や燃えないごみの日な
どにポイントを明記した札を
さげ、種類別に出す方法を
とっています。これにより資
源物の出し方が誰にでもわ
かり、細かい規則もいらず、
皆が負担に思うことなく管
理できています。

分別の問題やカラスによる 被害を解決

工夫を凝らした札の仕組みは今
では定着し、分別が徹底されるよう
になりました。この方法を参考にした他
のクリーンステーションもあるそう
です。カラス撃退にも試行
錯誤。黄色のネットにパイ
プや木の棒を縫い付け、
さらにペットボトルで重しを
する作業は大変でしたが、
こうした地道な努力のかい
あって管理の行き届いた
クリーンステーションが保
たれています。



＜現場の取材風景＞

日頃の近所付き合いにより 当番制なしでも皆で協力

「資源物やごみに関する皆の
意識が高いことはとてもうれし
い。日頃の近所付き合いはク
リーンステーションを使う上でも大
切なこと。」

仕組みを作ってそ
れが徹底されるま
で続けている皆さん
からの実感のこもっ
たお話でした。

(取材/編集委員
今村,安東,小泉,武井)